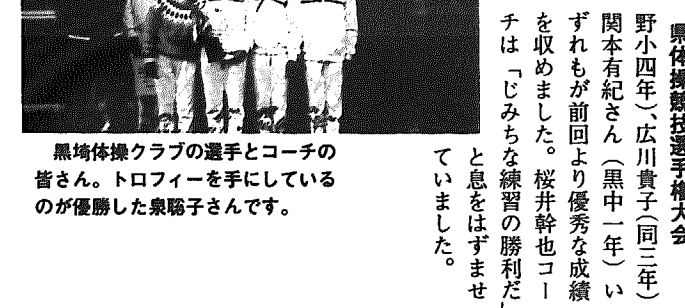


泉聡子さんが個人総合優勝

第八回新潟県体操競技選手権大会が十一月二十日(日)、新潟市鳥屋野総合体育館で開かれ、小学校女子の部で泉聡子さん(大野小六年)が優勝しました。泉さんは四年生のときから町の体操クラブに入り練習を続けてきました。おめでとうございました。

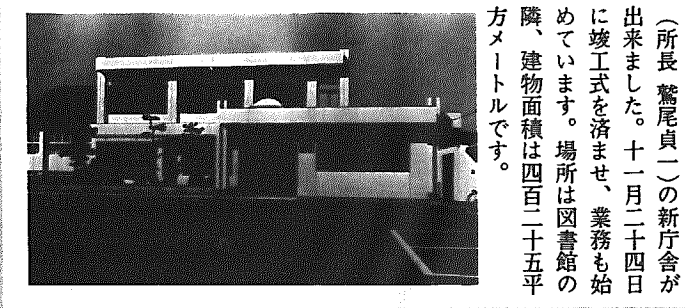
また、中学女子では、佐藤緑さん(一年)が総合五位に入賞。出場した黒崎体操クラブの弦巻直美さん(大



黒崎体操クラブの選手とコーチの皆さん。トロフィーを手にしているのが優勝した泉聡子さんです。

土地改良新庁舎完成

西蒲原土地改良区黒崎支所(所長 鷲尾貞一)の新庁舎が出来ました。十一月二十四日に竣工式を済ませ、業務も始めています。場所は図書館の隣、建物面積は四百二十五平方メートルです。



衛生委員がいればこそ

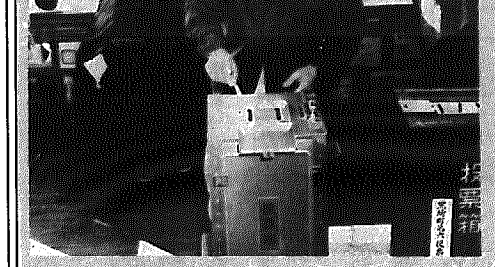
本町では年二回、河川不法投棄ゴミの掃除分をしていますが、今年も十二月一日に行いました。

作業は衛生委員会(会長 横山仁一郎)委員の皆さんは寒風吹きすさぶ中、材木や空き缶、自転車、トタンなどを不法に捨てられたゴミを処分していました。



衆議院総選挙投票結果

12月18日(日)、衆議院総選挙が行われ、投票率は75.14%、前回の80.72%を大きく下回りました。



投票場	当日の有権者数	投票者数	投票率
興野保育所	1,780	1,440	80.90
黒崎町公民館	2,661	1,979	74.37
大野小学校	1,569	1,183	75.40
善久保育所	1,463	991	67.74
山田小学校	2,416	1,714	70.94
板井小学校	842	663	78.74
木場小学校	1,781	1,361	76.42
黒鳥公民館	1,025	859	83.80
寺地保育所	1,222	900	73.65
計	14,759	11,090	75.14

候補者別得票数

相沢朝子	683	山本 梯二郎	1,712
近藤元次	3,233	小沢辰男	3,651
せきやま 信之	1,708	計	10,987

前回候補者別得票数 (55.6.22)

米田 東吾	1,775	山本 梯二郎	1,764
小沢辰男	2,756	林 弘二	920
近藤元次	3,529	計	10,744

無効票 385



黒崎町社会教育行政研究会が十二月九日、総合体育館で開かれ、教育関係者など約八十名が集まりました。

テーマは「今後の黒崎町の社会教育をどうするか」参加者は三分科会に分かれ学習しました。

このような研究会は本町では初めてで、意義深いものがあります。内容は今後の広報でお知らせします。

黒崎町の今昔

風習行事...その一

初売りの日は客が朝二時にはきて、朝寝坊した店はたたき起こされた。

「元日には金を使うな」と言われていた。元日に金を使うと「銭使い(貧乏)」になると思っていたのだ。反対にあきんどは元日に品物が売れると、縁起がいいと言って代金を神棚に供えたものである。

初売りとは「商店の初売り」と「職人の仕事始め」の日である。一般の人は景品のもらえる「買い初め」の日でもある。夜の明けない二時ころから起きて買い物に行く人が多く、商店も一時過ぎには開店した。

「春の七草を入れたかゆを炊いた。特に行事はなかったが、この日まで仕事は休んだ。」

二月十一日 お供えお飾り、除夜の鐘と同時に閉ざした蔵を正月十一日に開いた。この日になるまでに蔵を開くと縁起が悪いと言われていた。正月に使う物はあらかじめ出しておいた。

「元日は金を使うな」と言われていた。元日に金を使うと「銭使い(貧乏)」になると思っていたのだ。反対にあきんどは元日に品物が売れると、縁起がいいと言って代金を神棚に供えたものである。

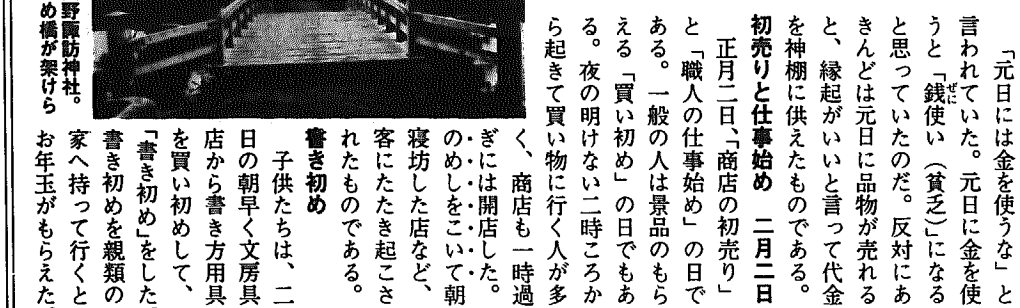
初売りとは「商店の初売り」と「職人の仕事始め」の日である。一般の人は景品のもらえる「買い初め」の日でもある。夜の明けない二時ころから起きて買い物に行く人が多く、商店も一時過ぎには開店した。

昔、大野を含む黒崎の各部落は、旧正月といって二月一日が元日だった。今のように一月一日が元日となったのは昭和二十年代の終わりのころからで、新潟市ほどの大きな都市以外の農村は、すべて二月一日に新年を迎えていた。

諏訪神社の元旦祭と元日の買い物

町の鎮守、諏訪神社では大晦日の「除夜祭」に引き続き「元旦祭」が行われた。

各町内から氏子総代(自治会長)らが出席して一日の朝一時過ぎに終わる。この行事は今でも続いているが、日時は今の一月一日である。二年参りもあつたが今のようににぎやかではなかった。



「元旦には金を使うな」と言われていた。元日に金を使うと「銭使い(貧乏)」になると思っていたのだ。反対にあきんどは元日に品物が売れると、縁起がいいと言って代金を神棚に供えたものである。

初売りとは「商店の初売り」と「職人の仕事始め」の日である。一般の人は景品のもらえる「買い初め」の日でもある。夜の明けない二時ころから起きて買い物に行く人が多く、商店も一時過ぎには開店した。

「春の七草を入れたかゆを炊いた。特に行事はなかったが、この日まで仕事は休んだ。」

二月十一日 お供えお飾り、除夜の鐘と同時に閉ざした蔵を正月十一日に開いた。この日になるまでに蔵を開くと縁起が悪いと言われていた。正月に使う物はあらかじめ出しておいた。

「元日は金を使うな」と言われていた。元日に金を使うと「銭使い(貧乏)」になると思っていたのだ。反対にあきんどは元日に品物が売れると、縁起がいいと言って代金を神棚に供えたものである。

初売りとは「商店の初売り」と「職人の仕事始め」の日である。一般の人は景品のもらえる「買い初め」の日でもある。夜の明けない二時ころから起きて買い物に行く人が多く、商店も一時過ぎには開店した。

「元日は金を使うな」と言われていた。元日に金を使うと「銭使い(貧乏)」になると思っていたのだ。反対にあきんどは元日に品物が売れると、縁起がいいと言って代金を神棚に供えたものである。

初売りとは「商店の初売り」と「職人の仕事始め」の日である。一般の人は景品のもらえる「買い初め」の日でもある。夜の明けない二時ころから起きて買い物に行く人が多く、商店も一時過ぎには開店した。